

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

社会科の目的及び内容の変遷を概観し、社会科の持つ特質について理解する。また、学習指導要領から学年別に求められている目標と内容について把握し、子供の成長と社会に対する認識の深まりについて考察する。また、社会科は初等教育、中等教育を通して「社会認識」を深めさせるものであること理解し、その連続性についても捉えられるようにする。一方、履修者に教育実践力を身につけさせるため、学習指導案の作成についても指導し、あわせて模擬授業を行なうことを通して社会認識力を図る教材化の多様性について理解する。

なお以上を含めて、本講義では、担当者の持つ学校教育現場の経験的な内容についても講義する。

授業計画

| | |
|--------|------------------------------------|
| 第 1 回 | 社会科とはどのような教科目であるのか、学問的背景を知る。 |
| 第 2 回 | 社会科の成立と学習指導要領の変遷 |
| 第 3 回 | 学習指導要領の内容とその特徴 |
| 第 4 回 | 第3学年における学習指導 「わたしたちの町について」 |
| 第 5 回 | 第4学年における学習指導 「地域の伝統文化について」 |
| 第 6 回 | 第5学年における学習指導 「国土の特徴について」 |
| 第 7 回 | 第5学年における学習指導 「食料生産について」 |
| 第 8 回 | 第6学年における学習指導 「我国の歴史について」 |
| 第 9 回 | 第6学年における学習指導 「世界の中の日本の役割について」 |
| 第 10 回 | 生活との接続及び中学校社会科への連続について |
| 第 11 回 | 博物館、図書館などの利用について（情報機器の活用を含む） |
| 第 12 回 | 学習指導案の作成及び模擬授業 3、4年の授業について |
| 第 13 回 | 学習指導案の作成及び模擬授業 地理、歴史の授業について |
| 第 14 回 | 学習指導案の作成及び模擬授業 民主主義と国際平和、環境の授業について |
| 第 15 回 | 社会科のいろいろな取り組みを知る |
| 第 16 回 | 定期試験 |

到達目標

本授業は、小学校において社会科教育を行なうのに必要な知識と教育技術の習得を図る。このためには、学習指導要領に示された社会科の目的と内容を理解することが必要である。また、実際に授業を創ることを通して、社会科教材の多様性を理解すると同時に実践力を養うことを目指していく。

履修上の注意

社会科は教室で学ぶだけではなく、課外の学習も重要な科目です。このため、土曜日などに、学外の調査見学等を行うことがありますので、こうした場合は参加を求めます。

予習・復習

予習は求めませんが、現代社会に関するニュース等に関心を持って理解するよう心がけてください。復習としては、教科書に使用する学習指導要領解説は、何度も繰り返し読んで、内容理解に努めてください。

評価方法

授業終了時に行なう試験とレポート及び授業への参加貢献度（模擬授業を行なう）を総合して評価する。
上記の比率はおよそ、試験5：レポート及び参加貢献度5

テキスト

文部科学省『小学校学習指導要領解説、社会編』